

第一回社會事業研究發表會の開催

財団法人中央社會事業協會主催の下に昭和十六年十月十、十一兩日に互り開催せられた第一回社會事業研究發表會については既に本誌本欄豫報の如くであるが、兩日に於ける研究發表の題名及び發表者氏名を示せば以下の如くである。

第一部 人的資源の保護育成に關する研究

人的資源の保護育成

新潟縣古城保育園長 崇島良忠

人的資源の保護育成

滋賀縣南川瀬保育園長 那須凌岱

福井縣下に於ける乳幼児一齊檢診の結果に就て

福井縣兒童保護協會副會長 柳下彦雄

人的資源の保護育成上特に食用鹽の量に就て

石川縣方面委員醫師 和田政範

戰時人的資源とその中小工業人口

滿鐵東京支社總記 森喜一

人的資源保護對策としての結核療養事業

滋賀縣近江兄弟社 西村關一

人的資源の保護育成に關して

滋賀縣南浦學園長 西尾關仲

人的資源の保護育成と母性の再教育

高知市社會事業協會常務理事 氏原一郎

人的資源の保護育成に就て

群馬縣深田同盟主事 戸谷清一郎

人的資源の保護育成に於ける農村工業の位置

農村工業協會常務理事 増田作太郎

乳幼児保護の實相 大垣市厚生課長 石田繁

人的資源の保護育成

札幌育兒園主事 天野銀市

人的資源(乳幼児)の保護育成

横濱中村愛兒園園長 平野恒子

人的資源の保護育成に就て

鹿兒島縣醫師 大迫明磨

人的資源の保護育成に就て

愛知縣形野村隣保事業組合長 横山善助

青少年不良化防止對策

岡山縣成徳學校教諭 坂本時雄

人口増強と育兒指導の強化

佐賀育兒院副院長 永野龍峰

母子保護事業の指針としての乳兒死亡統計について

大阪府地方技師 丸山博

人的資源の保護育成に就て

神戸市海外渡航助成會常務理事 大倉睦二

我國過去の人口政策の史實を顧みて將來に備ふ

— 兒童保護事業の現狀に徴して — 社會事業研究所 高橋東山

人的資源の保護育成

佐賀山代町方面常務委員 佐々木泰存

精神異常兒童の人的資源への活用

名古屋帝大醫學部助教授 岸本謙一

乳兒と悪質乳製品に就て

結核家庭と乳兒の隔離に就て 東京甘藷園長 一條秀實

人的資源の保護育成

佐世保海光園主 川添諦信

人的資源の保護育成と少年の教護

兵庫縣立農工學校長 池田千年

精神衛生技術と兒童保護の徹底

— 主として人的資源保護育成の見地から —

大阪四貫島セツルメント館長 吉田源治部

未定 佐世保保護會常務理事 龍圓與三吉

嬰兒保育に關し積極的強化

高岡劔維園長 塚原眞禪

人的資源の保護育成と育兒事業の將來

静岡ホーム長 石丸隲

人的資源の保護育成に就て

徳島縣方面委員 井内杉藏

不具者の更生對策について

福岡縣海老澤不具者更生會長 花田更生

第二部 國民生活の確保に關する研究

人的資源の保護育成に關する研究

國民生活の確保と人的資源の保護育成との聯結 佐世保託兒所主監 木山十彰

社會事業婦人從業員の給料調査

東京府社會事業協會主事補 林炳旭

人口問題と生活の安定

滋賀縣社會事業協會書記 清水博

水上生活者(家舟的聚落)の生活調査

長崎縣社會課副 龜川信人

都市食糧の確保に關する研究

神戸市厚生部長 岩田穰

所謂「開眼手術」の及ぼす經濟的影響に就て

同 同

農山漁村に於ける保育問題を如何にして解決すべきか

愛知縣巡迴療診班副班長 畑秀巳

児童院に於ける児童生活程度の適正基準に就て

東京市養育院庶務課長 藤野重次郎

農村保育事業 宮城縣 庄司仙嶺

國民標準常食の一研究

神戸市主事 川島民

酒精中毒矯正施設に就て

日本國民禁酒同盟主事 小鹽完次

國民生活の確保に關する二、三の考察

小樽市厚生課長 平尾吉之助

公設小賣市場の擴充整備に就て

東京市政調査會研究員 幸島禮吉

未定 佐世保市方面事業期成會 田口爲治

解船兒童の家庭的教護の結果とその親に及ぼす影響に關する研究

神戸市福利課長 荒井貞雄

國民生活の確保 山口縣勞道社主 姫井伊介

吾が町に於ける乳幼児妊産婦保護の實際

秋田縣天島町障保協會主事 土田十三郎

母子園の運営に就て

唐津市厚生課長 柴田徳三郎

落伍兒童の起用 京都白川學園長 脇田良吉

國民生活を確保する見地より生鮮食料品配給制度の是正を要望す 厚生省勸託 増田抱村

事變下に於ける我が乳兒院

京都平安徳義會主事 原善太郎

人的資源保護對策としての療養生活指導所の提唱

三井報恩會主事 横田忠郎

人口對策としての妊産婦登録制に就て

今治市腦病院長 三藤香吉

勞務者生活の確保と厚生施設の擴充

日本勞働科學研究所 三好豐太郎

母性乳幼児保護に就て

京都府養老村養育會會長 谷川佐代藏

棄兒哺育事業

東京松澤厚生事業協會副會長 田村周鸞

時局下に於ける社會事業的精神病院の役割

前橋市癡癡病院長 前田忠重

官公立吃音矯正所設置の急務

大阪市日本吃音學院副院長 丸尾重一

癩未感兒童保育事業に就ての一考察

國立癩癩發癩所菊池惠楓園書記 北里重夫

農漁山村の醫療に就て及國民保險の實際の運用

宮崎縣方面委員醫師 渡邊義久

戰時下に於ける都市母性と乳幼児の保護に就て

神奈川縣乳幼児保護協會會長 黒川ふじ

所謂カード階級に對する研究

千葉市社會事業協會勸託 廣瀬環

第三部 社會事業の基礎その他に關する研究

厚生關係委員の一元化に就て

宮城縣方面委員 三宅俊剛

戰爭と社會事業 社會事業研究所 賴順生

國民文化運動に於ける社會事業の使命

大政翼贊會文化部 牧賢一

社會事業資料としての太田暉著「一語一言」の價値

社會事業研究所 篠崎篤三

東亞生活型態の構想

大正大學教授 長谷川良信

漁村厚生の問題と方法

社會事業の限界 社會事業研究所 伊佐忠一

有隣園無料宿泊所長 藤井隆宣

農村常設託兒所を中心とする農村社會事業の戰時的役割 兵庫縣西秀寺保育園代表者 暉峻隆範

戰時下國民生活とその厚生指導に就て 社會事業研究所 大久保滿彦

養老事業の理念確立と有料養老院の設置に就て 浴風會保護課長 蘆澤威夫

國民厚生の理念構造に就て 日本金屬鑛業聯合會 門脇光男

科學的社會事業の途 兵庫縣立兒童研究所社會事業主事 遠藤汪吉

育兒事業團體の自主的結合と國民育成事業への展開 大阪聖ヨハネ學園長 古田誠一郎

厚生事業問題の實證的研究方法 社會事業研究所 小澤一

社會事業と方面委員 三重縣方面委員 長谷川純之助

方面委員の銓衡方法に就て 東京市方面委員 橋本鎌治

生活安定概念の分析 大阪府社會部書記 中野正直

厚生事業に於けるケース・ワークの位置 同志社大學講師 竹内愛二

厚生事業理論の分析 社會事業研究所 福山政一

社會事業と生活文化 秋田婦人ホーム主事 三浦三郎

厚生事業に於ける人的資源保護の意義

同志社大學教授 竹中勝男
生活の確保と厚生事業の方向
社會事業研究所 松本征二

都市に於ける社會事業の地域性に就て
社會事業研究所 重田信一

都市社會事業の再吟味
東京愛隣團總理事 谷川貞夫

勞務管理と社會事業
東京市囑託、産報委員 山田節男

國民の生産性と生活性
關西學院大學教授 松澤兼人

保育所に於ける保育について
岡山縣昭和館長 大森次郎

虚弱者の體位向上
岡山縣野村助正會理事 小出永備

日本民族衛生協會第十回學術大會の開催

日本民族衛生協會第十回學術大會ハ昭和十六年十一月一、二兩日互リ慶應義塾大學醫學部北里記念圖書館に於て開催せられたが、その特別講演及び研究發表内容を掲ぐれば次の如くである。

日本民族衛生協會第十回學術大會
演題及演者氏名

特別講演

遺傳と體質

大里俊吾

一、双生兒

(1) 双生兒統計學補遺
(厚研優生) 川上理一

(2) 日本人双生兒の歯牙、齒齶型並びに口蓋に就いての形態學的研究 (第一回報告)
(日大齒科) 稻葉福次

(3) 雙胎胎兒の背筋に就いて
(慶大解剖) 澁谷潔

(4) 再度一卵性双生兒尾唇並びに口蓋破裂の遺傳的疑義 (東京齒科) 赤坂東九郎

二、人類遺傳學

(5) 優良兒家系調査
(厚研優生) 附田鎮厦

(6) 左利の遺傳 (慶大學生) 伊藤進

(7) 妊娠時猩紅熱に伴へる尾唇並びに口蓋破裂の一例 (東京齒科) 赤坂東九郎

(8) 本邦に於ける「テイ・ザックス」型眼内障性白癩に就いて
(名大勝沼内科) 竹下三男吉

(9) 蟲垂炎の家族性に就いて
(吉川病院) 谷本千秋

(10) 小頭の十四家系に就いて
(厚研優生) 尾崎安之助

(11) 腦出血素質の遺傳
(慶大豫防) 宮村芳之

(12) 南洋移住民の體質に就いての家族的研究
(慶大解剖) 江口爲平

(13) 本邦に於ける血友病並びに其の遺傳
(名大勝沼内科) 村上昌辰

(14) 三宅島に於ける上顎前齒部正中離開に關する家系的調査
(日大齒科) 根津文雄

(15) 家族性内耳性難聴症例に就いて
(醫察病院) 山田喜郎

(16) 色盲と他の遺傳性疾患との聯關の有無並びに其の意義 (名大勝沼内科) 村上昌辰

(17) 先天性色神異常の類型と遺傳
(厚研環境衛生) 近藤忠雄

(18) 三宅島に於て發見せられたる姉妹の縮毛に就いて
(日大齒科) 櫻井文雄

(19) 本邦に於ける遺傳性震顫症の遺傳
(名大勝沼内科) 村上三男吉

(20) 日本人と歐米人及印度人との混血兒に就いての人類學的研究
(慶大解剖) 江口爲藏

(21) 南洋に於ける混血兒所見
(慶大解剖) 江口爲藏

(22) 遺傳性精神病頻度の地域的動搖及びその成因に就いての考察
(東大精神科) 内村祐之

(23) 大都市に於ける精神疾患頻度に關する調査
(松沼病院) 阿部良男

(24) 本邦人の精神疾患遺傳負荷に關する調査
(東大精神科) 内村祐之

(25) 指紋の左右相關に就いて (第三回報告)
(行刑衛生會) 松村泰